

McAfee®

privacy service

ユーザ ガイド



著作権

Copyright © 2004 Networks Associates Technology, Inc. All Rights Reserved. Network Associates Technology, Inc. またはそのサブライヤもしくはその関連会社の書面による許可を得ることなく、いかなる形態または手段でも、本出版物の一部または全部の複製、送信、転写、検索システムへの保存、他言語への翻訳を行うことは禁じられています。許可が必要な場合は、マカフィーの法務部門まで書面にてご連絡ください。
マカフィー株式会社 住所：〒150-0043 東京都渋谷区玄坂 1-12-1 渋谷マークシティウエスト 20 F. <http://jp.mcafee.com>

商標の帰属

ACTIVE FIREWALL、ACTIVE SECURITY、アクティブセキュリティ、ACTIVESHIELD、ANTIVIRUS ANYWARE AND DESIGN、CLEAN-UP、DESIGN (E が図案化されたもの)、DESIGN (N が図案化されたもの)、ENTERCEPT、ENTERPRISE SECURECAST、エンタープライズセキュアキャスト、EPOLICY ORCHESTRATOR、FIRST AID、FORCEFIELD、GMT、GROUPSHIELD、グループシールド、GUARD DOG、HOMEGUARD、HUNTER、INTRUSHIELD、INTRUSION PREVENTION THROUGH INNOVATION、M AND DESIGN、MCAfee、マカフィー、MCAFE AND DESIGN、MCAFE.COM、MCAFE VIRUSSCAN、NA NETWORK ASSOCIATES、NET TOOLS、ネットツールズ、NETCRYPTO、NETOCTOPUS、NETSCAN、NETSHIELD、NETWORK ASSOCIATES、NETWORK ASSOCIATES COLLISEUM、NETXRAY、NOTESGUARD、NUTS & BOLTS、OIL CHANGE、PC MEDIC、PCNOTARY、PRIMESUPPORT、RINGFENCE、ROUTER PM、SECURECAST、SECURESELECT、SPAMKILLER、STALKER、THREATSCAN、TIS、TMEG、TOTAL VIRUS DEFENSE、TRUSTED MAIL、UNINSTALLER、VIREX、VIRUS FORUM、VIRUSCAN、VIRUSSCAN、ウイルススキャン、WEBSKAN、WEBSHIELD、ウェブシールド、WEBSTALKER、WEBWALL、WHAT'S THE STATE OF YOUR IDS?、WHO'S WATCHING YOUR NETWORK、YOUR E-BUSINESS DEFENDER、YOUR NETWORK、OUR BUSINESS は、米国およびその他の国における McAfee, Inc. またはその関連会社の商標または登録商標です。セキュリティに関連する赤色は、マカフィーブランド製品独自のものです。本文書に登場するその他の登録商標および未登録商標は、各所有者の独占所有物です。

使用許諾情報

使用許諾契約

ユーザの皆様へ：お客様がお買い求めになったライセンスに従って該当する法的同意書（ライセンス許可されたソフトウェアの使用について一般条項を定めるものです）をよくお読みください。どのような種類のライセンスを取得したか不明である場合は、販売およびその他関連のライセンス証書を参照するか、ソフトウェアパッケージに含まれている注文書または購入製品の一部分として個別に受け取った文書（ブックレット、製品 CD のファイル、またはソフトウェアパッケージをダウンロードした WEB サイトから入手できるファイル）を確認してください。同意書に規定されている条項に合意しない場合は、ソフトウェアをインストールしないでください。その場合、マカフィーまたは製品をお買い上げ頂いた販売店に製品をご返品いただければ、全額を返金いたします。

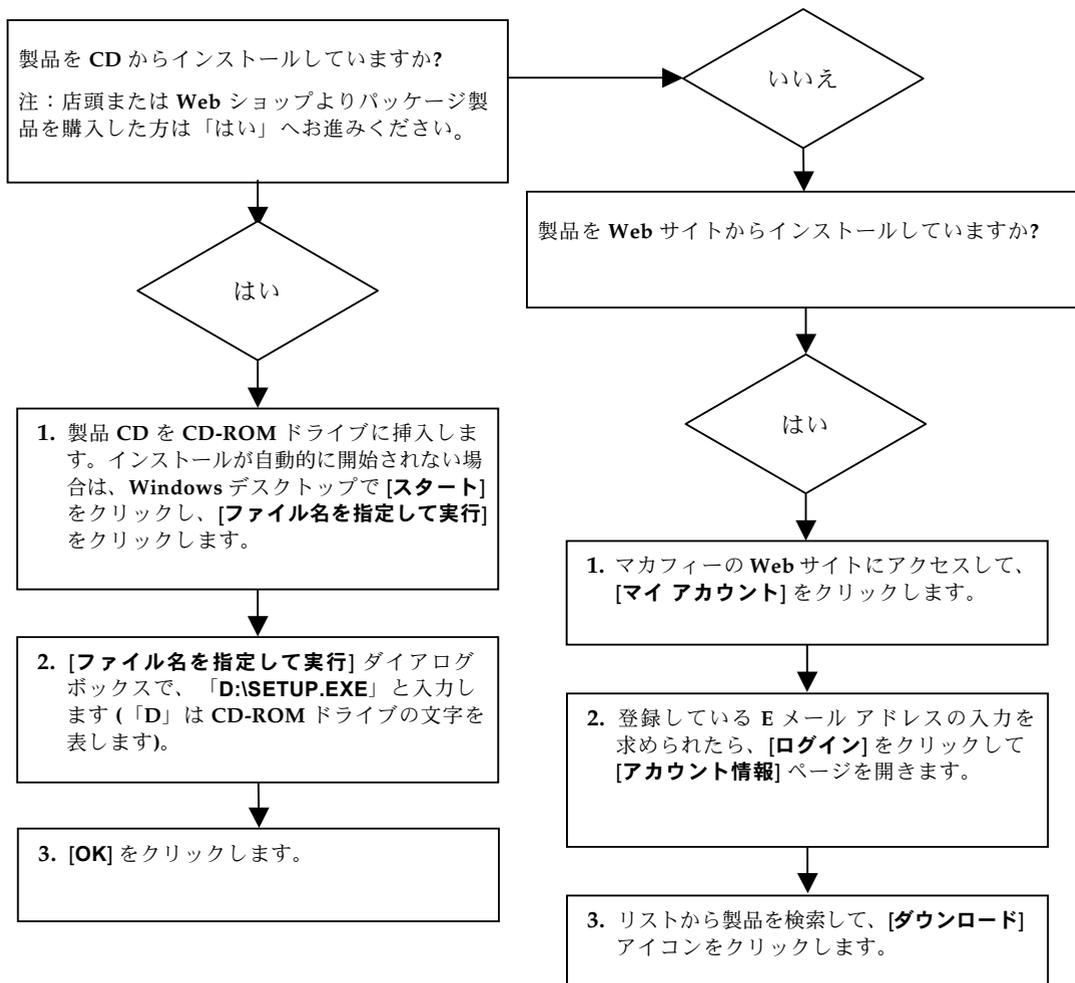
帰属

この製品には、以下のプログラムの一部またはすべてが含まれます。

- ◆ OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>) に OpenSSL Project が開発したソフトウェア。 ◆ Eric A. Young 氏制作の暗号化ソフトウェア、および Tim J. Hudson 氏制作のソフトウェア。 ◆ GNU General Public License (GPL) またはその他の同様のフリーソフトウェアライセンスの下でユーザにライセンス（またはサブライセンス）された一部のソフトウェアプログラム。これらのライセンスでは、特定のプログラムまたはその一部に対してコピー、改造、再配布が許可され、ソースコードにもアクセスすることができ、GPL は、実行可能なバイナリ形式で配布された GPL 適用対象ソフトウェアについて、そのソースコードもユーザに公開することを義務付けています。GPL が適用される対象ソフトウェアについては、この CD にソースコードが含まれています。この同意書で認められた権利を超えて、ソフトウェアプログラムを使用、コピー、または変更する権利をマカフィーが付与することを無償ソフトウェアライセンスが義務付けている場合は、この同意書にある権利と制限より優先されます。 ◆ Henry Spencer 氏によって作成されたソフトウェア (Copyright 1992, 1993, 1994, 1997 Henry Spencer)。
- ◆ Robert Nordier 氏によって作成されたソフトウェア (Copyright © 1996-7 Robert Nordier)。
- ◆ Douglas W. Sauder 氏によって作成されたソフトウェア。
- ◆ Apache Software Foundation によって開発されたソフトウェア (<http://www.apache.org/>)。このソフトウェアの使用許諾契約については、www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0.txt を参照してください。 ◆ International Components for Unicode (‘ICU’) (Copyright © 1995-2002 International Business Machines Corporation and others) ◆ CrystalClear Software, Inc. が開発したソフトウェア (Copyright © 2000 CrystalClear Software, Inc.)。 ◆ FEAD® Optimizer® テクノロジー (Copyright Netop Systems AG, Berlin, Germany)。
- ◆ Outside In® Viewer Technology (© 1992-2001 Stellent Chicago, Inc.) または Outside In® HTML Export (© 2001 Stellent Chicago, Inc.)、あるいはその両方。 ◆ Thai Open Source Software Center Ltd. と Clark Cooper 氏 (© 1998, 1999, 2000) の著作権で保護されているソフトウェア。 ◆ Expat 管理者の著作権で保護されているソフトウェア。 ◆ The Regents of the University of California の著作権で保護されているソフトウェア (© 1989)。
- ◆ Gunnar Ritter 氏の著作権で保護されているソフトウェア。 ◆ Sun Microsystems® Inc. の著作権で保護されているソフトウェア (© 2003)。
- ◆ Gisle Aas 氏の著作権で保護されているソフトウェア。 © 1995-2003。 ◆ Michael A. Chase 氏の著作権で保護されているソフトウェア (© 1999-2000)。
- ◆ Neil Winton 氏の著作権で保護されているソフトウェア (© 1995-1996)。
- ◆ RSA Data Security, Inc. の著作権で保護されているソフトウェア (© 1990-1992)。
- ◆ Sean M. Burke 氏の著作権で保護されているソフトウェア (© 1999, 2000)。
- ◆ Martijn Koster 氏の著作権で保護されているソフトウェア (© 1995)。
- ◆ Brad Appleton 氏の著作権で保護されているソフトウェア (© 1996-1999)。
- ◆ Michael G. Schwern 氏の著作権で保護されているソフトウェア (© 2001)。
- ◆ Graham Barr 氏の著作権で保護されているソフトウェア (© 1998)。
- ◆ Larry Wall 氏および Clark Cooper 氏の著作権で保護されているソフトウェア (© 1998-2000)。
- ◆ Frodo Looijgaard 氏の著作権で保護されているソフトウェア (© 1997)。
- ◆ Python Software Foundation の著作権で保護されているソフトウェア (© 2001, 2002, 2003)。このソフトウェアの使用許諾契約については、www.python.org を参照してください。 ◆ Beman Dawes 氏の著作権で保護されているソフトウェア (© 1994-1999, 2002)。
- ◆ Andrew Lumsdaine 氏、Lie-Quan Lee 氏、Jeremy G. Siek 氏制作のソフトウェア (© 1997-2000 University of Notre Dame)。
- ◆ Simone Bordet 氏と Marco Cravero 氏の著作権で保護されているソフトウェア (© 2002)。
- ◆ Stephen Purcell 氏の著作権で保護されているソフトウェア (© 2001)。
- ◆ Indiana University Extreme! Lab 開発のソフトウェア (<http://www.extreme.indiana.edu/>)。
- ◆ International Business Machines Corporation ほかの著作権で保護されているソフトウェア著作権で保護されているソフトウェア (© 1995-2003)。
- ◆ University of California, Berkeley およびその貢献者によって開発されたソフトウェア。 ◆ Ralf S. Engelschall 氏 (<rs@engelschall.com>) が開発した mod_ssl プロジェクト用ソフトウェア (<http://www.modssl.org/>)。
- ◆ Kevin Henney 氏の著作権で保護されているソフトウェア (© 2000-2002)。
- ◆ Peter Dimov 氏と Multi Media Ltd. の著作権で保護されているソフトウェア (© 2001, 2002)。
- ◆ David Abrahams 氏の著作権で保護されているソフトウェア (© 2001, 2002)。マニュアルについては、<http://www.boost.org/libs/bind/bind.html> を参照してください。 ◆ Steve Cleary 氏、Beman Dawes 氏、Howard Hinnant 氏、John Maddock 氏の著作権で保護されているソフトウェア (© 2000)。
- ◆ Boost.org の著作権で保護されているソフトウェア (© 1999-2002)。
- ◆ Daryle Walker 氏の著作権で保護されているソフトウェア (© 2001)。
- ◆ Chuck Allison 氏と Jeremy Siek 氏の著作権で保護されているソフトウェア (© 2001, 2002)。
- ◆ Samuel Krempf 氏の著作権で保護されているソフトウェア (© 2001)。更新、マニュアル、および変更履歴については、<http://www.boost.org> を参照してください。 ◆ Doug Gregor 氏 (gregod@cs.rpi.edu) の著作権で保護されているソフトウェア (© 2001, 2002)。
- ◆ Cadenza New Zealand Ltd. の著作権で保護されているソフトウェア (© 2000)。
- ◆ Jens Maurer 氏の著作権で保護されているソフトウェア (© 2000, 2001)。
- ◆ Jaakko Järvi 氏 (jaakko.jarvi@cs.utu.fi) の著作権で保護されているソフトウェア (© 1999, 2000)。
- ◆ Ronald Garcia 氏の著作権で保護されているソフトウェア (© 2002)。
- ◆ David Abrahams 氏、Jeremy Siek 氏、Daryle Walker 氏の著作権で保護されているソフトウェア (© 1999-2001)。
- ◆ Stephen Cleary 氏 (shammah@voyager.net) の著作権で保護されているソフトウェア (© 2000)。
- ◆ Housemarque Oy (<<http://www.housemarque.com>>) の著作権で保護されているソフトウェア (© 2001)。
- ◆ Paul Moore 氏の著作権で保護されているソフトウェア (© 1999)。
- ◆ Dr. John Maddock の著作権で保護されているソフトウェア (© 1998-2002)。
- ◆ Greg Colvin 氏と Beman Dawes 氏の著作権で保護されているソフトウェア (© 1998, 1999)。
- ◆ Peter Dimov 氏の著作権で保護されているソフトウェア (© 2001, 2002)。
- ◆ Jeremy Siek 氏と John R. Bandela 氏の著作権で保護されているソフトウェア (© 2001)。
- ◆ Joerg Walter 氏と Mathias Koch 氏の著作権で保護されているソフトウェア (© 2000-2002)。

クイック スタート カード

CD または Web サイトから製品をインストールする場合は、本ページの内容を事前にご確認ください。尚、本ページのインストール手順は、各パソコン メーカーのマカフィープリインストール版をご利用のお客様は対象としておりません。インストールし直す必要がある場合は、各パソコン メーカーが提供する手順書等をご確認ください。



マカフィーは通知なしにいつでも更新 & サポート プランおよびポリシーを変更する権利を有します。
McAfee および VirusScan は、McAfee, Inc と米国および他国におけるその提携企業の登録商標または商標です。
© 2004 Networks Associates Technology, Inc. All rights reserved.

詳細情報

ユーザ ガイドを表示するには、Acrobat Reader が必要です。インストールされていない場合は、McAfee の製品 CD から Acrobat Reader をインストールしてください (店頭または Web ショップよりパッケージ製品を購入したユーザが対象となります)。

- 1 製品 CD を CD-ROM ドライブに挿入します。
- 2 Windows エクスプローラを開きます。Windows のデスクトップで **[スタート]** をクリックし、**[検索]** をクリックします。
- 3 「マニュアル」フォルダを検索し、開くユーザ ガイドの PDF をダブルクリックします。

ユーザ登録の利点

製品の手順に従ってユーザ登録を直接送信することをお勧めします。ご登録いただくと、テクニカルサポート以外にも、次のような特典もご利用いただけます。

- Web、E メール、電話によるサポート
- McAfee VirusScan ソフトウェアご購入の際に、インストールから 1 年間、ウイルス定義ファイル (DAT) の更新提供
次年度以降の更新料金については、<http://jp.mcafee.com> をご覧ください。
- McAfee SpamKiller ソフトウェアご購入の際に、インストールから 1 年間、McAfee SpamKiller フィルタの更新提供
次年度以降の更新料金については、<http://jp.mcafee.com> をご覧ください。
- McAfee Internet Security Suite ソフトウェアご購入の際に、インストールから 1 年間、McAfee Internet Security Suite の更新提供
次年度以降の更新料金については、<http://jp.mcafee.com> をご覧ください。

テクニカル サポート

テクニカル サポートが必要な場合は、<http://www.mcafeehelp.jp/> にアクセスしてください。

目次

クイック スタート カード	iii
1 はじめに	9
機能	9
システム要件	9
管理者	10
セットアップ アシスタント	10
管理者パスワードを取得する	10
スタートアップ ユーザ	11
McAfee SecurityCenter を使用する	11
McAfee SecurityCenter を開くには	11
McAfee Privacy Service を開く	12
McAfee Privacy Service を開いてサインインする	12
McAfee Privacy Service を無効にする	12
McAfee Privacy Service を更新する	12
McAfee Privacy Service をアンインストールして再インストールする	13
McAfee Privacy Service をアンインストールする	13
McAfee Privacy Service をインストールする	13
2 ユーザを追加する	15
パスワードを設定する	15
コンテンツのレベルを設定する	15
Cookie ブロックを設定する	15
インターネットの時間制限を設定する	16
新しいユーザがインターネットにアクセスできないようにする	16
3 ユーザを編集する	17
パスワードを変更する	17
ユーザの情報を変更する	17
Cookie ブロックの設定を変更する	17
許可または拒否する Cookie のリストを編集する	18
年齢グループを変更する	18

インターネットの時間制限を変更する	18
ユーザのインターネット アクセスを常に許可する	19
ユーザのインターネット アクセスを制限する	19
スタートアップ ユーザを変更する	19
ユーザを削除する	19
4 オプション	21
Web サイトをブロックする	21
Web サイトを許可する	21
情報をブロックする	21
情報を追加する	22
情報を編集する	22
個人情報を削除する	22
Web バグをブロックする	22
広告をブロックする	22
特定の Web ページからの Cookie を許可する	23
McAfee Privacy Service データベースをバックアップする	23
バックアップ データベースを使用する	24
5 イベント ログ	25
日付と時間	25
ユーザ	25
概要	25
イベントの詳細	25
6 ユーザ オプション	27
パスワードを変更する	27
ユーザ名を変更する	27
キャッシュを消去する	28
Cookie を有効にする	28
リストから Web サイトを削除する	28
Cookie を拒否する	29
リストから Web サイトを削除する	29
7 ユーティリティ	31
McAfee Shredder を使用してファイルを永久に削除する	31
Windows に一部のファイルが残る理由	31

McAfee Shredder によって消去されるもの	31
Windows エクスプローラでファイルを永久に消去する	31
Windows のごみ箱を空にする	32
Shredder の設定をカスタマイズする	32
索引	33

McAfee® Privacy Service™ をお買い上げいただき、ありがとうございます。McAfee Privacy Service は、お客様、ご家族、個人データ、およびコンピュータを保護する高度な機能を提供するソフトウェアです。

機能

McAfee Privacy Service には、次の機能が含まれています。

- Web バグ ブロッカー — Web バグ (Web ビーコンとも呼ばれます。各ユーザの Web 利用状況を収集するために使われるもの。)をブロックして、閲覧した Web ページ内にロードされないようにします。
- ポップアップ ブロッカー — インターネット閲覧時に、ポップアップ ウィンドウが表示されないようにします。
- McAfee Shredder — 不要なファイルをすばやく安全に消去して、プライバシーを守ります。

システム要件

- Windows 98、Windows 98 SE、Windows 2000 Professional、Windows XP Home Edition、Windows XP Professional、または Windows Me
- 40MB のハード ディスク空き容量
- RAM (Random Access Memory)
 - ◆ Windows 98: 32MB (64MB を推奨)
 - ◆ Windows Me、2000、または XP: 64MB (128MB を推奨)
- 以下のプロセッサを搭載したパーソナル コンピュータ
 - ◆ Windows 98 または Me: Pentium 150 MHz 以上
 - ◆ Windows 2000 または XP: Pentium 233 MHz 以上
- Microsoft Internet Explorer 5.5 以上

管理者

管理者は、どのユーザがインターネットにアクセスできるか、いつ使用できるか、インターネットで何ができるかを指定します。

注

管理者は成年とみなされ、すべての Web サイトにアクセスできますが、McAfee Privacy Service で登録した個人情報 (PII) の転送時に許可または拒否するよう求めるメッセージが表示されます。

セットアップ アシスタント

セットアップ アシスタントを使用すると、管理者の作成 (まだ作成していない場合)、グローバル設定の管理、個人情報の入力、およびユーザの追加を行うことができます。

注

McAfee Privacy Service にログオンするには、管理者パスワードを覚えておく必要があります。ログオンできなければ、McAfee Privacy Service およびインターネットを使用できません。McAfee Privacy Service の設定は自分だけが変更できるように、パスワードは誰にも知られないようにしてください。

Cookie を有効にしないと正しく動作しない Web サイトもあります。

McAfee Privacy Service はマカフィー Web ページからの Cookie を常に受け入れます。

管理者パスワードを取得する

管理者パスワードを忘れてしまった場合は、管理者のプロフィールを作成したときに入力したセキュリティ情報を使用して、パスワードにアクセスできます。

- 1 マカフィー・アイコン  を右クリックし、[Privacy Service] をポイントして、[サインイン] をクリックします。
- 2 [ユーザ名] プルダウン メニューから [管理者] を選択します。
- 3 [パスワードを忘れた場合] をクリックします。

表示された質問に答えを入力し、[パスワード取得] をクリックします。パスワードを含むメッセージが表示されます。

スタートアップ ユーザ

コンピュータを起動すると McAfee Privacy Service に自動的にサインインすることが可能です。

パソコンを頻繁に利用するユーザ 1 人または複数いるユーザのうちの 1 人をスタートアップ ユーザにすることができます。スタートアップ ユーザがコンピュータを使用するときには、McAfee Privacy Service にサインインするよう求めるメッセージは表示されません。

McAfee SecurityCenter を使用する

McAfee SecurityCenter では、Windows システム トレイ (パソコン画面の右下) にあるアイコンまたは Windows デスクトップから、セキュリティに関するすべての操作を実行できます。McAfee SecurityCenter では、次の有用なタスクを実行できます。

- コンピュータのセキュリティ分析を行う。
- 1 つのアイコンから McAfee のすべてのサービスを起動、管理、設定する。
- 最新のウイルス情報と最新の製品情報を表示する。
- マカフィーの Web サイトにある FAQ (よくある質問) やアカウントの詳細にすばやくリンクする。

McAfee SecurityCenter の機能の詳細については、**[McAfee SecurityCenter]** ダイアログボックスで **[ヘルプ]** をクリックしてください。

McAfee SecurityCenter が実行中で、コンピュータにインストールされている McAfee のすべての機能が有効になっている場合、赤色の **M** アイコンが Windows のシステム トレイに表示されます。この領域は、通常は Windows デスクトップの右下隅にあり、時計が表示されています。

コンピュータにインストールされている McAfee アプリケーションが 1 つでも無効になっている場合は、マカフィー・アイコンは黒色 **M** に変わります。

McAfee SecurityCenter を開くには

マカフィー・アイコン **M** を右クリックし、**[SecurityCenter を開く]** を選択します。

McAfee Privacy Service を開く

McAfee Privacy Service をインストールすると、システム時計の近くの Windows システムトレイに マカフィー・アイコン  が表示されます。コンピュータにインストールされている McAfee Privacy Service、McAfee SecurityCenter、およびその他の McAfee 製品に、このマカフィー・アイコンからアクセスできます。

McAfee Privacy Service を開いてサインインする

McAfee Privacy Service を開くには

- 1 マカフィー・アイコンを右クリックし、**[Privacy Service]** をポイントして、**[サインイン]** をクリックします。
- 2 **[ユーザ名]** プルダウン メニューからユーザ名を選択します。
- 3 **[パスワード]** フィールドにパスワードを入力します。
- 4 **[サインイン]** をクリックします。

注

[サインイン] の代わりに **[サインアウト]** が表示されている場合は、すでにサインインしています。

McAfee Privacy Service を無効にする

McAfee Privacy Service を無効にするには、管理者としてログインしている必要があります。

McAfee Privacy Service を無効にするには

マカフィー・アイコン  を右クリックし、**[Privacy Service]** をポイントして、**[サインアウト]** をクリックします。

注

[サインアウト] の代わりに **[サインイン]** が表示されている場合は、すでにサインアウトしています。

McAfee Privacy Service を更新する

McAfee SecurityCenter では、コンピュータが起動しインターネットに接続している間に、定期的に McAfee Privacy Service の更新の有無をチェックします。更新がある場合は、McAfee Privacy Service を今すぐ更新するか延期するかを尋ねるメッセージが、McAfee SecurityCenter から表示されます。

手動で更新をチェックするには、上端のウィンドウ枠の **[更新]** アイコン  をクリックします。

McAfee Privacy Service をアンインストールして再インストールする

McAfee Privacy Service をアンインストールするには、管理者としてログインしている必要があります。

注

McAfee Privacy Service をアンインストールすると、McAfee Privacy Service のデータもすべて削除されます。

McAfee Privacy Service をアンインストールする

- 1 作業中のデータをすべて保存し、開いているアプリケーションを閉じます。
- 2 コントロール パネルを開きます。
 - Windows 98、Windows Me、および Windows 2000 ユーザの場合 – [**スタート**] を選択し、[**設定**] をポイントし、[**コントロール パネル**] をクリックします。
 - Windows XP ユーザの場合 – Windows タスクバーの [**スタート**] を選択し、[**コントロール パネル**] をクリックします。
- 3 [**プログラムの追加と削除**] ダイアログ ボックスを開きます。
 - Windows 98、Me、および 2000 ユーザの場合 – [**アプリケーションの追加と削除**] をダブルクリックします。
 - Windows XP ユーザの場合 – [**プログラムの追加と削除**] をクリックします。
- 4 プログラムのリストから McAfee Privacy Service を選択し、[**変更と削除**] をクリックします。
- 5 アンインストールを確認するメッセージが表示されたら、[**はい**] をクリックします。McAfee Privacy Service のアンインストールが開始されます。
- 6 システムの再起動を求めるメッセージが表示されたら、[**閉じる**] をクリックします。コンピュータが再起動し、アンインストール処理が完了します。

McAfee Privacy Service をインストールする

- 1 マカフィーの Web サイトにアクセスし、McAfee Privacy Service のページに移動します。
- 2 McAfee Privacy Service のページで [**ダウンロード**] リンクをクリックします。
- 3 マカフィーの Web サイトからファイルをダウンロードするかどうか確認するメッセージが表示されたら、[**はい**] をクリックします。
- 4 McAfee Privacy Service のインストールウィンドウで [**インストールの開始**] をクリックします。

- 5 ダウンロードが完了したら、**【再起動】**をクリックしてコンピュータを再起動します。または、作業中のデータを保存したり、プログラムを終了する必要がある場合は、**【閉じる】**をクリックしてから、通常どおりの方法でコンピュータを再起動します。McAfee Privacy Service を正しく動作させるためには、コンピュータを再起動する必要があります。

コンピュータを再起動したら、管理者を作成し直す必要があります。

ユーザを追加する

2

他のパソコン ユーザを追加するには、管理者として McAfee Privacy Service にサインインする必要があります。

- 1 マカフィー・アイコン  を右クリックします。
- 2 **[Privacy Service]** をポイントし、**[ユーザを管理する]** を選択します。**[ユーザを選択]** ダイアログ ボックスが表示されます。
- 3 **[追加]** をクリックし、**[ユーザ名]** フィールドに新しいユーザの名前を入力します。

パスワードを設定する

- 1 **[パスワード]** フィールドにパスワードを入力します。パスワードには 50 文字まで使用でき、大文字、小文字、および数字を含めることができます。
- 2 **[パスワードの確認]** フィールドにもう一度パスワードを入力します。
- 3 このユーザをスタートアップユーザにする場合は、**[このユーザをスタートアップユーザにする]** を選択します。
- 4 **[次へ]** をクリックします。

コンテンツのレベルを設定する

年齢に応じた適切な設定を選択し、**[次へ]** をクリックします。

Cookie ブロッカを設定する

適切なオプションを選択し、**[次へ]** をクリックします。

- **[すべての Cookie を拒否]** – Cookie の送信元 Web サイトが Cookie を読み取れないようにします。Cookie を有効にしないと正しく動作しない Web サイトもあります。
- **[Cookie を受け入れるかどうかユーザに確認]** – Cookie を許可するか、拒否するかを、状況に応じて選択できるようにします。表示しようとした Web サイトがコンピュータに Cookie を送信しようとする、McAfee Privacy Service がユーザに通知します。一度選択すると、その後はその Cookie について尋ねられることはありません。
- **[すべての Cookie を許可]** – Web サイトがコンピュータに送信した Cookie を読み取れるようにします。

注

Cookie を有効にしないと正しく動作しない Web サイトもあります。

McAfee Privacy Service は McAfee からの Cookie を常に許可します。

インターネットの時間制限を設定する

新しいユーザが時間制限なしにインターネットを使用できるようにするには

- 1 **[無条件でインターネットを使用許可]** を選択します。
- 2 **[作成]** をクリックします。[ユーザを選択] リストに新しいユーザが表示されます。

新しいユーザの時間制限を設定するには

- 1 **[インターネットの使用を制限]** を選択し、**[編集]** をクリックします。
- 2 **[曜日]** プルダウン メニューから、新しいユーザにインターネットの使用を許可する曜日を選択します。
- 3 該当するフィールドから **[開始時刻]** および **[終了時刻]** を選択し、**[追加]** をクリックします。
- 4 確認ダイアログ ボックスで **[OK]** をクリックします。日付領域に選択した日付および時間が表示されます。時間制限を削除するには、日付を選択し、**[削除]** をクリックします。
- 5 時間の追加が終了したら、**[終了]** をクリックします。
- 6 **[作成]** をクリックします。[ユーザを選択] リストに新しいユーザが表示されます。ユーザが許可されていない日時にインターネットを使用しようとすると、インターネットを使用できない日時であることを示すメッセージが表示されます。

新しいユーザがインターネットにアクセスできないようにする

[インターネットの使用を制限] を選択し、**[作成]** をクリックします。ユーザがコンピュータを使用すると、McAfee Privacy Service にサインインするよう求めるメッセージが表示されます。これらのユーザはコンピュータを使用することはできますが、インターネットを使用することはできません。

ユーザを編集するには、管理者として Privacy Service にサインインする必要があります。

パスワードを変更する

- 1 情報を変更するユーザを選択し、**[編集]** をクリックします。
- 2 **[パスワード]** を選択し、**[新しいパスワード]** フィールドにユーザの新しいパスワードを入力します。パスワードには 50 文字まで使用でき、大文字、小文字、および数字を含めることができます。
- 3 **[パスワードの確認]** フィールドにユーザの新しいパスワードをもう一度入力し、**[適用]** をクリックします。
- 4 確認ダイアログ ボックスで **[OK]** をクリックします。

注

管理者は、ユーザの現在のパスワードを知らなくても、ユーザのパスワードを変更できます。

ユーザの情報を変更する

- 1 情報を変更するユーザを選択し、**[編集]** をクリックします。
- 2 **[ユーザ情報]** を選択します。
- 3 **[新しいユーザ名]** フィールドに新しいユーザ名を入力します。
- 4 **[適用]** をクリックし、確認ダイアログ ボックスで **[OK]** をクリックします。
- 5 ユーザに対して **[許可する Web サイト]** リストにある Web サイトの表示を制限するには、**[このユーザのアクセスを次のリストの Web サイトのみに制限する: 許可する Web サイト リスト]** を選択します。

Cookie ブロッカの設定を変更する

- 1 情報を変更するユーザを選択し、**[編集]** をクリックします。
- 2 **[Cookies]** を選択し、適切なオプションを選択します。
 - ◆ **[すべての Cookie を拒否]**—Cookie の送信元 Web サイトが Cookie を読み取れないようにします。Cookie を有効にしないと正しく動作しない Web サイトもあります。

- ◆ **[Cookie を受け入れるかどうかユーザに確認]**—Cookie を許可するか、拒否するかを、状況に応じて選択できるようにします。表示しようとした Web サイトがコンピュータに Cookie を送信しようとする、McAfee Privacy Service がユーザに通知します。一度選択すると、その後はその Cookie について尋ねられることはありません。
- ◆ **[すべての Cookie を許可]**—Web サイトがコンピュータに送信した Cookie を読み取れるようにします。

3 **[適用]** をクリックし、確認ダイアログ ボックスで **[OK]** をクリックします。

許可または拒否する Cookie のリストを編集する

- 1 **[Cookie を受け入れるかどうかユーザに確認]** を選択し、**[編集]** をクリックして、Cookie の読み取りを許可する Web サイトを指定します。
- 2 **[Cookie の設定を許可する Web サイト]** または **[Cookie の設定を許可しない Web サイト]** を選択して、変更するリストを指定します。
- 3 **[http://]** フィールドに、Cookie を許可または拒否する Web サイトのアドレスを入力します。
- 4 **[追加]** をクリックします。Web サイトのリストに Web サイトが表示されます。
- 5 変更が終了したら、**[終了]** をクリックします。

注

Cookie を有効にしないと正しく動作しない Web サイトもあります。

McAfee Privacy Service は McAfee からの Cookie を常に許可します。

年齢グループを変更する

- 1 情報を変更するユーザを選択し、**[編集]** をクリックします。
- 2 **[年齢グループ]** を選択します。
- 3 ユーザの新しい年齢グループを選択し、**[適用]** をクリックします。
- 4 確認ダイアログ ボックスで **[OK]** をクリックします。

インターネットの時間制限を変更する

- 1 情報を変更するユーザを選択し、**[編集]** をクリックします。
- 2 **[時間制限]** を選択し、次の操作を行います。

ユーザのインターネット アクセスを常に許可する

- 1 [無条件でインターネットを使用許可] を選択し、[適用] をクリックします。
- 2 確認ダイアログ ボックスで [OK] をクリックします。

ユーザのインターネット アクセスを制限する

- 1 [インターネットの使用を制限] を選択し、[編集] をクリックします。
- 2 [曜日] プルダウン メニューから、インターネット アクセスを許可する曜日を選択します。
- 3 [開始時刻] および [終了時刻] を選択し、[追加] をクリックします。
- 4 確認ダイアログ ボックスで [OK] をクリックします。リストの下の領域に、選択した日付および時間が表示されます。
- 5 時間の追加が終了したら、[終了] をクリックします。

スタートアップ ユーザを変更する

- 1 スタートアップ ユーザに指定するユーザを選択し、[編集] をクリックします。
- 2 [ユーザ情報] を選択します。
- 3 [このユーザをスタートアップ ユーザにする] を選択します。
- 4 [適用] をクリックし、確認ダイアログ ボックスで [OK] をクリックします。

注

スタートアップ ユーザがすでに存在する場合は、スタートアップ ユーザを解除する必要はありません。

ユーザを削除する

- 1 削除するユーザを選択し、[削除] をクリックします。
- 2 確認ダイアログ ボックスで [はい] をクリックします。
- 3 変更が終了したら、McAfee Privacy Service ウィンドウを閉じます。

McAfee Privacy Service のオプションを設定するには、管理者として McAfee Privacy Service にサインインする必要があります。

Web サイトをブロックする

- 1 **[オプション]** をクリックし、**[ブロック リスト]** を選択します。
- 2 **[http://]** フィールドにブロックする Web サイトの URL を入力し、**[追加]** をクリックします。**[ブロックする Web サイト]** リストに Web サイトが表示されます。

注

[成年] グループレベルに属するユーザは、Web サイトが [ブロックする Web サイト] リストに含まれているかどうかに関わらず、すべての Web サイトにアクセスできます。

Web サイトを許可する

管理者は、すべてのユーザに対して、特定の Web サイトの閲覧を許可することができます。これは、McAfee Privacy Service のデフォルト設定およびブロック リストに追加した Web サイトよりも優先されます。

- 1 **[オプション]** をクリックし、**[許可リスト]** を選択します。
- 2 **[http://]** フィールドに許可する Web サイトの URL を入力し、**[追加]** をクリックします。**[許可する Web サイト]** リストに Web サイトが表示されます。

情報をブロックする

管理者は、他のユーザが特定の個人情報をインターネット上で送信するのを防ぐことができます (管理者はこの情報を送信できます)。

McAfee Privacy Service によって、送信しようとした情報の中に個人情報 (PII) が検出されると、次のことが起こります。

- 管理者にはメッセージが表示され、情報を送信するかどうかを決定できます。
- ログインしているユーザが管理者ではない場合は、ブロックされた情報は *mcgdog* に置換されます。たとえば、「Lance Armstrong wins tour」という E メールを送信しようとしたときに、「Armstrong」がブロック対象の個人情報として設定されている場合は、実際に送信される E メールには「Lance mcgdogmcmcg wins tour」と表示されます。

情報を追加する

- 1 **[オプション]** をクリックし、**[ブロック情報]** を選択します。
- 2 **[追加]** をクリックします。**[種類を選択]** プルダウンメニューが表示されます。
- 3 ブロックする情報の種類を選択します。
- 4 該当するフィールドに情報を入力し、**[OK]** をクリックします。入力した情報がリストに表示されます。

情報を編集する

- 1 **[オプション]** をクリックし、**[情報をブロック]** を選択します。
- 2 編集する情報を選択し、**[編集]** をクリックします。
- 3 適切に変更し、**[OK]** をクリックします。情報を変更する必要がない場合は、**[キャンセル]** をクリックします。

個人情報を削除する

- 1 **[オプション]** をクリックし、**[情報をブロック]** を選択します。
- 2 削除する情報を選択し、**[削除]** をクリックします。
- 3 確認ダイアログボックスで **[はい]** をクリックします。

Web バグをブロックする

Web バグは、インターネットの利用状況を追跡したり、外部データベースに個人情報を転送するなど、第三者にメッセージを送信できる小さなグラフィック ファイルです。第三者はこの情報を使用してユーザ プロフィールを作成できます。

Web バグが閲覧した Web ページにロードされるのを防ぐには、**[このコンピュータで Web バグをブロック]** を選択します。

広告をブロックする

広告とは、通常は第三者ドメインによって Web ページまたはポップアップ ウィンドウに表示されるグラフィックです。McAfee Privacy Service は、ホスト Web ページと同じドメインから表示される広告はブロックしません。

ポップアップは、不要な広告を表示する補助的なブラウザ ウィンドウで、ユーザが Web サイトにアクセスすると自動的に表示されます。McAfee Privacy Service は、Web ページをロードしたときに自動的にロードされるポップアップだけをブロックします。リンクのクリックによって開始されるポップアップは、McAfee Privacy Service によってブロックされません。ブロックされたポップアップを表示するには、CTRL キーを押しながら Web ページを更新します。

インターネット使用時の広告およびポップアップをブロックするには、McAfee Privacy Service を設定します。

- 1 **[オプション]** をクリックし、**[広告をブロック]** を選択します。
- 2 適切なオプションを選択します。
 - ◆ **[このコンピュータで広告をブロック]**—インターネット使用中の広告をブロックします。
 - ◆ **[この広告でポップアップをブロック]**—インターネット使用中のポップアップをブロックします。
- 3 **[適用]** をクリックし、確認ダイアログ ボックスで **[OK]** をクリックします。

ポップアップのブロックを無効にするには、Web ページを右クリックし、**[McAfee ポップアップ ブロッカ]** をポイントし、**[ポップアップ ブロッカを有効にする]** をオフにします。

特定の Web ページからの Cookie を許可する

Cookie をブロックした場合や、Cookie を許可する前にメッセージを表示する必要がある場合、または特定の Web サイトが正しく動作していない場合は、サイトがその Cookie を読み取ることができるように McAfee Privacy Service を設定します。

- 1 **[オプション]** をクリックし、**[Cookie]** を選択します。
- 2 **[http://]** フィールドに、Cookie を読み取る必要がある Web サイトのアドレスを入力し、**[追加]** をクリックします。**[Cookie を許可する Web サイト]** リストにアドレスが表示されます。

McAfee Privacy Service データベースをバックアップする

データベースのバックアップ ファイルは、元のデータベースが破損した場合や、削除された場合のみ使用できます。このような場合は、McAfee Privacy Service によって、McAfee Privacy Service データベースを復元するよう求めるメッセージが表示されます。

- 1 **[オプション]** をクリックし、**[バックアップ]** を選択します。
- 2 **[参照]** をクリックしてデータベース ファイルの場所を選択し、**[OK]** をクリックします。
- 3 **[パスワード]** フィールドにパスワードを入力します。
- 4 **[パスワードの確認]** フィールドにパスワードをもう一度入力し、**[バックアップ]** をクリックします。
- 5 確認ダイアログ ボックスで **[OK]** をクリックします。

注

このパスワードは誰にも知られないようにし、忘れないでください。
このパスワードがないと、McAfee Privacy Service の設定を復元できません。

バックアップ データベースを使用する

- 1 **[バックアップ データベース フォルダ]** フィールドにバックアップ ファイルのパスを入力するか、**[参照]** をクリックしてファイルを検索します。
- 2 **[パスワード]** フィールドにパスワードを入力します。
- 3 **[復元]** をクリックします。

McAfee Privacy Service データベースをバックアップしなかった場合や、バックアップ パスワードを忘れてしまった場合、またはデータベースを復元できない場合は、McAfee Privacy Service をアンインストールし、再インストールする必要があります。

イベント ログを表示するには、管理者として McAfee Privacy Service にサインインする必要があります。次に、**[イベント ログ]** を選択し、詳細を表示するログ エントリをクリックします。

日付と時間

デフォルト (標準の設定) では、**[イベント ログ]** には情報が時間順に表示され、最も新しいイベントが先頭に表示されます。**[イベント ログ]** のエントリが時間順に表示されていない場合は、**[日付と時刻]** 見出しをクリックします。

日付は年 / 月 / 日の形式で表示されます。

ユーザ

ユーザとは、McAfee Privacy Service がイベントを記録しているときに、ログインしてインターネットを使用している人です。

概要

概要には、McAfee Privacy Service がユーザを保護するために何を行っているか、およびユーザがインターネットで何を行っているかについて、短い簡単な説明が表示されます。

イベントの詳細

[イベントの詳細] フィールドには、エントリの詳細が表示されます。

次の手順は、管理者には該当しません。

パスワードおよびユーザ名を変更できます。管理者から与えられた自分のパスワードは、変更することをお勧めします。また、パスワードは月に一度、あるいは誰かにパスワードを知られた可能性がある場合に変更することをお勧めします。これにより、他人に自分のユーザ名でインターネットを利用されるのを防ぐことができます。

パスワードを変更する

- 1 マカフィー・アイコンを右クリックし、**[Privacy Service]** をポイントして、**[オプション]** をクリックします。
- 2 **[パスワード]** をクリックして、**[古いパスワード]** フィールドに古いパスワードを入力します。
- 3 **[新しいパスワード]** フィールドに新しいパスワードを入力します。
- 4 **[パスワードの確認]** フィールドに新しいパスワードをもう一度入力し、**[適用]** をクリックします。
- 5 確認ダイアログ ボックスで **[OK]** をクリックします。パスワードが新しくなりました。

ユーザ名を変更する

- 1 マカフィー・アイコンを右クリックし、**[Privacy Service]** をポイントして、**[オプション]** をクリックします。
- 2 **[ユーザ情報]** をクリックします。
- 3 **[新しいユーザ名]** フィールドに新しいパスワードをもう一度入力し、**[適用]** をクリックします。
- 4 確認ダイアログ ボックスで **[OK]** をクリックします。ユーザ名が新しくなりました。

キャッシュを消去する

キャッシュを消去して、最近閲覧した Web ページに子供がアクセスできないようにすることをお勧めします。キャッシュを消去するには、次の操作を行います。

- 1 Internet Explorer を開きます。
- 2 **[ツール]** メニューから **[インターネット オプション]** をクリックします。[インターネット オプション] ダイアログ ボックスが表示されます。
- 3 **[インターネット一時ファイル]** セクションで **[ファイルの削除]** をクリックします。[ファイルの削除] ダイアログ ボックスが表示されます。
- 4 **[すべてのオフライン コンテンツを削除する]** を選択し、**[OK]** をクリックします。
- 5 **[OK]** をクリックして、[インターネット オプション] ダイアログ ボックスを閉じます。

Cookie を有効にする

このオプションは、インターセプトされたときに Cookie を許可または拒否する権限を管理者から与えられている場合にのみ使用できます。

Cookie が必要な Web サイトにアクセスする場合、それらのサイトに対して Cookie を読み取る許可を与えることができます。

- 1 マカフィー・アイコンを右クリックし、**[Privacy Service]** をポイントして、**[オプション]** をクリックします。
- 2 **[許可する Cookie]** をクリックします。
- 3 **[http://]** フィールドに Web サイトの URL を入力し、**[追加]** をクリックします。**Web サイト** リストにこの Web サイトが表示されます。

リストから Web サイトを削除する

- 1 **Web サイト** リストで Web サイトの URL を選択します。
- 2 **[削除]** をクリックし、確認ダイアログ ボックスで **[はい]** をクリックします。

Cookie を拒否する

このオプションは、中断されたときに Cookie を許可または拒否する権限を管理者から与えられている場合にのみ使用できます。

Cookie が不要な Web サイトにアクセスする場合は、メッセージを表示せずに Cookie を拒否することができます。

- 1 マカフィー・アイコンを右クリックし、**[Privacy Service]** をポイントして、**[オプション]** をクリックします。
- 2 **[拒否する Cookie]** をクリックします。
- 3 **[http://]** フィールドに Web サイトの URL を入力し、**[追加]** をクリックします。**Web サイト** リストにこの Web サイトが表示されます。

リストから Web サイトを削除する

- 1 **Web サイト** リストで Web サイトの URL を選択します。
- 2 **[削除]** をクリックし、確認ダイアログ ボックスで **[はい]** をクリックします。

ユーティリティを使用するには、管理者として McAfee Privacy Service にサインインする必要があります。次に、**[ユーティリティ]** をクリックし、**[McAfee Shredder]** を選択します。

McAfee Shredder を使用してファイルを永久に削除する

McAfee Shredder  は、不要なファイルをすばやく安全に消去して、プライバシーを守ります。

削除したファイルは、ごみ箱を空にした後でも、コンピュータから復元できます。ファイルを削除すると、ディスクドライブ上にあった保存してあった場所が使用されていない場所としてマークされるだけで、ファイルはまだ消えずに残っています。

Windows に一部のファイルが残る理由

ファイルを永久に削除するには、既存のファイルに新しいデータを繰り返し上書きする必要があります。ドキュメントを破棄しても、プログラムによっては開いているドキュメントのコピーが隠しファイルとして一時的に保存されることがあるので、常にドキュメントの復元を防ぐことができるとは限りません。エクスプローラで表示したドキュメントを破棄しただけでは、それらのドキュメントの一時的なコピーがまだ残っています。定期的にディスクドライブの空き容量を破棄して、一時的なコピーを永久に削除することをお勧めします。

McAfee Shredder によって消去されるもの

McAfee Shredder では、次のものを安全に永久に消去できます。

- 1 つまたは複数のファイルまたはフォルダ
- ディスク全体
- Web の閲覧履歴

Windows エクスプローラでファイルを永久に消去する

Windows エクスプローラでファイルを破棄するには

- 1 Windows エクスプローラを開き、破棄する 1 つまたは複数のファイルを選択します。
- 2 選択したファイルを右クリックし、**[送る]** をポイントし、**[McAfee Shredder]** を選択します。

Windows のごみ箱を空にする

ごみ箱にファイルが入っている場合、McAfee Shredder ではより安全な方法でごみ箱を空にすることができます。

ごみ箱のコンテンツを破棄するには、次の操作を行います。

- 1 Windows のデスクトップで [ごみ箱] を右クリックします。
- 2 **[ごみ箱のコンテンツを破棄]** を選択し、画面に表示される指示に従って操作します。

Shredder の設定をカスタマイズする

次のようにカスタマイズできます。

- 破棄パスの回数を指定する。
- ファイルを破棄するときに警告メッセージを表示する。
- 破棄する前に、ハードディスクのエラーをチェックする。
- McAfee Shredder を [送る] メニューに追加する。
- Windows のデスクトップに [McAfee Shredder] アイコンを配置する。

McAfee Shredder の設定をカスタマイズするには、McAfee Shredder を起動して **[プロパティ]** をクリックし、画面に表示される指示に従って操作します。

索引

M

- McAfee Privacy Service, 12
 - 更新, 11, 12
 - サインイン, 12
 - 開く, 12
 - 無効化, 12
- McAfee Privacy Service のアンインストール, 13
- McAfee SecurityCenter, 11
- McAfee Shredder, 31

い

- イベント ログ, 25

お

- オプション, 21
 - Cookie の許可, 23
 - Web サイトの許可, 21
 - Web サイトのブロック, 21
 - Web バグ, 22
 - 広告のブロック, 22
 - 情報のブロック, 21
 - バックアップ, 23

か

- 管理者, 10
 - パスワードの取得, 10

き

- 機能, 9

く

- クイック スタート カード, iii

し

- システム要件, 9

す

- スタートアップ ユーザ, 11, 15

せ

- セットアップ アシスタント, 10

ゆ

- ユーザ オプション, 27
 - Cookie の拒否, 29
 - Cookie の有効化, 28
 - キャッシュの消去, 28
 - パスワードの変更, 27
 - ユーザ名の変更, 27
- ユーザの追加, 15
 - Cookie のブロック, 15
 - インターネットの時間制限, 16
 - コンテンツのブロック, 15
- ユーザの編集, 17
 - Cookie のブロック, 17
 - インターネットの時間制限, 18
 - スタートアップ ユーザ, 19
 - 年齢グループ, 18
 - パスワード, 17
 - ユーザ情報, 17
 - ユーザの削除, 19
- ユーティリティ, 31